

## 幕末長門の歴史秘話

160年前

黄波戸浦にも黒船がやって来た！

会期 2024. 6. 5 - 8. 25

嘉永6年(1853)、浦賀沖(現 神奈川県)に黒船が来航し、日本は開国への道を進んでいきました。萩藩は攘夷を実行するため、外国船を撃退する行動を起こします。その最中、元治元年(1864)6月7日、アメリカの商船が黄波戸浦に突如現れ、碇泊しました。商船は長崎へ向かう途中で燃料が無くなったため薪を買いたいとのことでしたが、このことはすぐさま前大津勘場へ報告されました。岸では

迎え撃つ準備が進められ、翌朝、砲撃事件へと発展しました。この砲撃事件以降、北浦の村々は対外的危機を強く意識しました。本展では、当時の歴史資料などから砲撃事件の詳細を探ります。

### ヒストリアながと学芸員と行く 幕末の長門を知るバスツアー

～日置黄波戸編～

6月29日(土) 9時30分～12時15分  
(雨天決行)

料 金 無料  
集合場所 ヒストリアながと  
定 員 20名(申し込み多数の場合は抽選)  
予約方法 電話または下記二次元コードよりお申込みください  
(TEL: 0837-22-3703)



◀お申込みはこちら



申込締切 6月21日(金)



給領庄屋の対応に対して賞与とともに送られた書状(個人蔵)

## 和紙人形で見ると 近松の世界

近松門左衛門没後三百年



近松門左衛門銅像  
(近松創造の庭)

令和6年  
6月5日 ㊦

▶ 8月25日 ㊧

近松門左衛門は江戸時代前期から中期に活躍した人形浄瑠璃や歌舞伎の作者です。諸説ある出生地のひとつとして長門市東深川の江良が挙げられています。

本展では、長門市内に残る近松門左衛門に関する言い伝えを紹介するとともに、ルネッサながとに收藏されている近松作品をモチーフにした紙人形を展示します。

### ヒストリアながと学芸員と行く 近松門左衛門ゆかりの地巡り

計画中

近松門左衛門に関係する場所を、ヒストリアながと学芸員の案内のもと歩いて巡ります。

詳細は SNS を確認！

地域をひらいた人々

# 永田金左衛門

Kinzaemon Nagata

令和6年6月5日(水)～8月25日(日)

江戸時代後期、長門市深川の田屋地区や仙崎は水田の水不足に悩んでいました。永田金左衛門は私費を投じて、深川の大清水を引き入れる用水路を造りました。用水路は全長約3kmを超えるものです。本展では、田屋の人々に語り継がれてきた彼の偉業を紹介します。



永田金左衛門顕彰碑

## JR美祢線開通100年記念長門市駅と美祢線『美祢線の思い出』写真展

2024.6.5(水)～8.25(日)

大正13年(1924)、美祢線の開通とともに正明市駅(現在の長門市駅)が開業しました。それから100年、美祢線は現在まで多くの人々の交通路として活躍してきました。

みなさんにとっての美祢線の思い出はどのようなものでしょうか?「美祢線の思い出」募集で集まった写真を展示します。



美祢線(長門市三之瀬を走るキハ120形)

## 『祭祀(マツリ)の器』

～祈りに込められた人々の願い～

R6.3.8(金)～R6.8.25(日)

平成30年、長門市向津具の本郷遺跡の調査が行われ、古墳時代後期の祭祀跡が発見されました。遺跡からは祭祀に用いた壺・甕・鉢・高坏等の土器とともに、県内最多数となるミニチュア土器も出土しました。出土品から、雨乞いによる水源確保や豊作のための祈りなど、人々の想いを想像してみましょう。



ミニチュア土器(山口県埋蔵文化財センター蔵)

## 長門市指定有形文化財(工芸品)

# 銅鏡

どうきょう

2024.3.8(金)～8.25(日)

平安時代後期に作られたとされる銅鏡を公開します。

銅鏡を所蔵している御所原大神宮(長門市西深川)は、古くから長門国唯一の大神宮で

あり、江戸時代には萩藩主の崇敬が厚い場所でした。

この銅鏡は寛文年間(1661-1672)に毛利綱広が鷹狩りをした際に神社の近くで発見し、奉納したと伝えられています。



銅鏡(御所原大神宮蔵)

長門市総合文化財センター

## ヒストリアながと

長門市東深川 2660 番地 4 TEL 0837-22-3703 FAX 0837-22-3700

開館時間 9:00～17:00(入館は 16:30 まで)

入館料 無料 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)



最新情報は  
こちらから⇒



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ Twitter



▲ HP

